

㊦ 経営情報システム

【総評】

令和8年度の本試験は、近年の設問数と同じ25問であり、5肢択一が23問で前年度と同じであった。時事的な出題は例年通り多いが、確実な知識や消去法などを活用することで、標準的なレベルであったと思われる。

出題形式は、空欄補充問題4問（前年度5問）、計算問題3問（前年度3問）、正誤判断1問（前年度7問）であった。

出題の分野別内訳を見ると、概ね第1問～第10問が情報通信技術に関する基礎的知識、第11問～第25問が経営情報管理の出題である。特徴を列举すると、次のとおりである。

- ①時事問題・最新の内容の出題がある（第25問の「A I 事業者ガイドライン」など）。
- ②確実な知識で正解を絞り込むことができる問題が出題されている。
- ③過去問題の類似問題も出題されている（第7問の正規化、第8問のS Q L、第19問のE V M、第24問の二値分類など）。

経営情報システムは、難易度のばらつきが大きい科目であるが、正解すべき問題、適切・不適切な選択肢について、基礎知識をフル活用しつつ、選択肢間の関係も視野に入れて選択・削除できる力が求められる。

（情報通信技術に関する基礎的知識）

第2問（R A I D）、第3問（仮想化技術）、第7問（正規化）、第8問（S Q L）
第9問（通信プロトコル）、第10問（R A S I S）などは正解したい問題である。

（経営情報管理）

第15問（テスト）、第19問（E V M）、第24問（二値問題）などは正解したい問題である。

以上